

普及活動情勢報告（令和元年 1 1 月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

トゲ無し母枝づくりで品質向上を・・・JA中村支所黄玉ユズ目慣らし会・・・



10月24日、JA 幡多地区中村選果場で黄玉ユズの目慣らし会が行われ、生産者13名が参加しました。

農業改良普及課からは青果率を上げる一つの方法として、トゲのほとんど無い結果母枝をつくるための収穫時の果実の切り離し方を説明しました。生産者の中には無意識にこの方法で収穫している場合もあると思いますが、皆が身を乗り出して聞いていました。これからはコストのかからない、ちょっとした工夫を紹介していきます。

光合成と土づくり、そしてアシストスーツ・・・第5回女性農業者勉強会・・・



10月25日に宿毛市宇須々木で、第5回女性農業者勉強会を開催し、土佐文旦を栽培している女性農業者4名が参加しました。

食味品質の高い果実生産のためには、全体に光が当たる樹形や樹間、土づくりなど全てのバランスが良い生産環境づくりの重要性が理解されました。

また会の中で、空気圧式アシストスーツの試着会についても協議し、11月にメーカーを呼んで開催する事を決定しました。

農業改良普及課では、女性農業者の資質向上、栽培技術の習得やスマート農業関連機器の紹介などに取り組みます。

就農に向けて先輩農家に学ぼう！・・・第6回農業基礎講座・・・



10月25日、第6回農業基礎講座を開催したところ、関係機関を含め29名が参加しました。

就農2、3年目の農家から事例発表した後、研修生から「ビニール張りなどに行った方が良いか。」「新しいほ場で気をつけることは？」などの質問があり、農業士からは、「地域の活動に参加して顔を覚えてもらおうといい。」「ほ場の水はけや風の通り道も聞いておくといい。」などのアドバイスがありました。

農業改良普及課では、今後も研修生の知識・技術習得、地域農業者との交流をすすめていきます。

基盤整備とセットで集落営農法人を設立しよう！・・・利岡地区集落営農法人設立説明会・・・



10月30日、基盤整備事業に取り組んでいる四万十市利岡集落で、集落営農法人設立説明会が開催され、集落の基盤整備受益農家16名が参加しました。

今回は基盤整備事業における担い手の要件や法人の体制や役割について説明を行う中で、法人の運営内容などについて質問が多数出されました。

利岡集落では、法人設立に向けた任意組織（利岡ファーム）を設立しており、令和2年1月に任意組織を法人化する計画です。

農業改良普及課は、利岡ファームの法人化に向けて基盤整備課と協力して支援を行っていきます。

環境制御技術を学ぼう！・・・よさこいミディ研究会勉強会・・・



11月8日、四万十市あぐりっこ研修センターで、幡多管内のトマト生産者を対象として環境制御技術についての勉強会を開催し、生産者9名が参加しました。

農業改良普及課からは、環境制御技術の基礎についての説明後、現地ほ場で環境測定装置の活用方法について情報支援を行いました。生産者からは、温度管理のポイントや施肥の方法など、積極的な質問が出ました。

農業改良普及課は、今後も生産者からの要望のあった内容について勉強会を開催し、技術力向上を支援していきます。